

# 長野県SDGs推進企業登録制度の登録状況等について

産業労働部 産業政策課

## 1 登録者数（令和元年5月20日～令和2年7月31日まで）

478者

### 【内訳】

- 第1期・・・80者（5月20日から6月末まで）
  - 第2期・・・82者（7月1日から9月末まで）
  - 第3期・・・70者（10月1日から1月10日まで）
  - 第4期・・・145者（1月11日から3月末まで）
  - 第5期・・・101者（4月1日から6月末まで）
- 計478者

## 2 産業区分※

登録企業等が最も多い産業区分は、製造業124者であり、全体の約3割を占める。

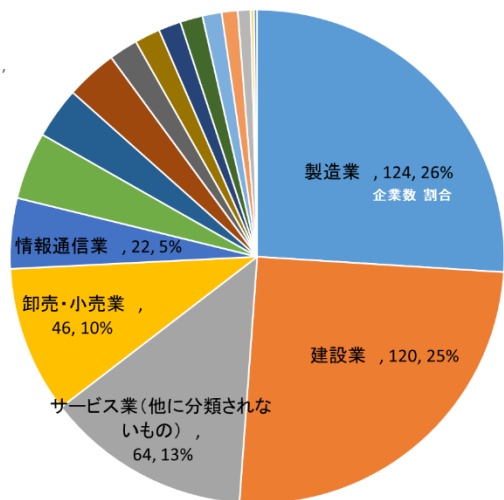
次に建設業が続き、サービス業、卸・小売業、情報通信業の順となっている。

※登録上の産業区分とは、主たる業務内容について、申請者が日本標準産業分類の大分類により区分したもの

5%未満の産業区分

金融・保険業	21.4%
宿泊業、飲食サービス業	16.3%
電気・ガス・熱供給・水道業	16.3%
医療・福祉	9.2%
林業	8.2%
農業	7.1%
複合サービス事業	7.1%
教育、学習支援業	6.1%
学術研究・専門・技術サービス業	5.1%
運輸業、郵便業	4.1%
不動産業、物品賃貸業	1.0%
漁業	1.0%

申請企業等の産業区分  
(478者)

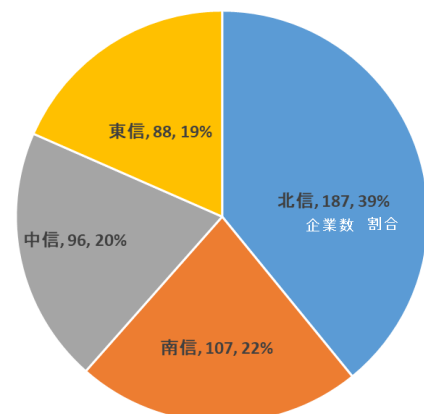


全申請者の事業所等の所在地域(478者)

## 3 地域別の申請状況

登録企業等が最も多い地域は、北信地域の187者であり、全体の約4割を占める。

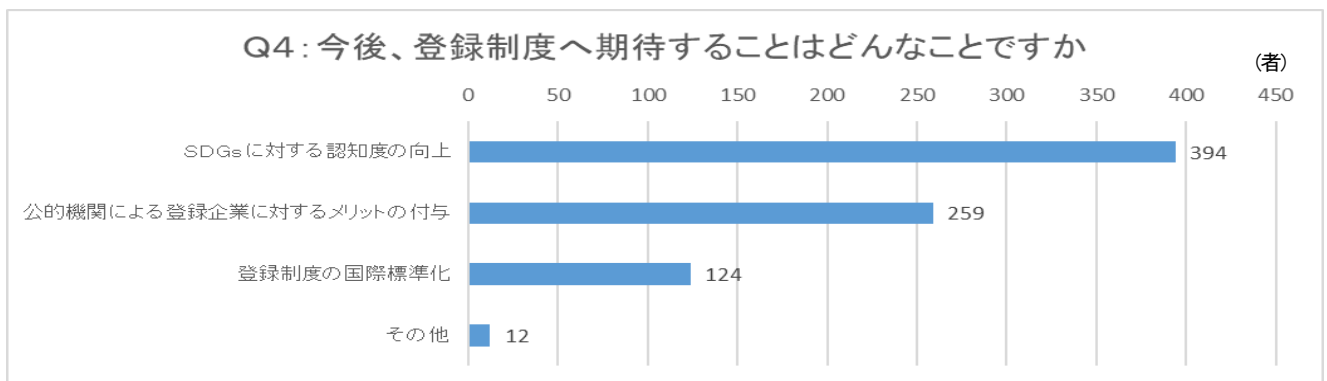
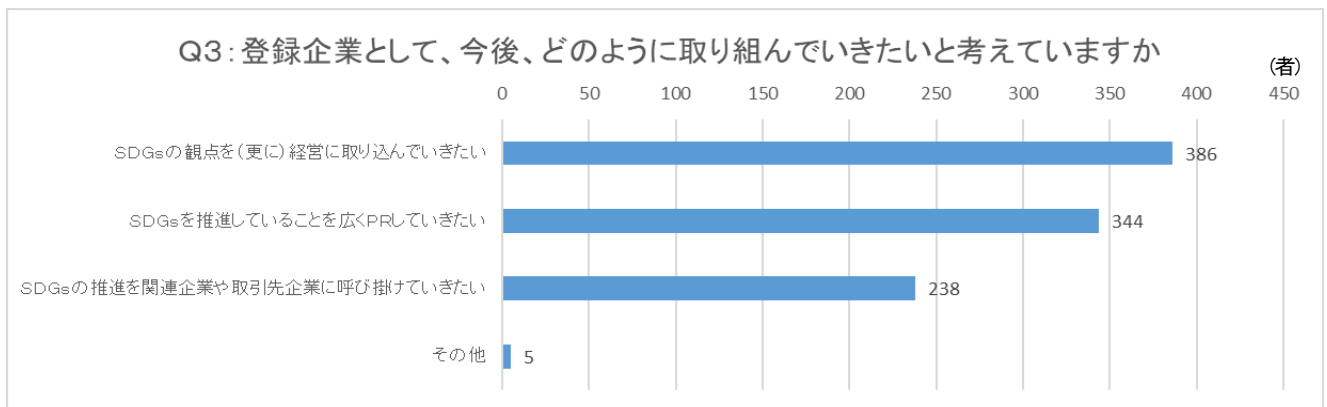
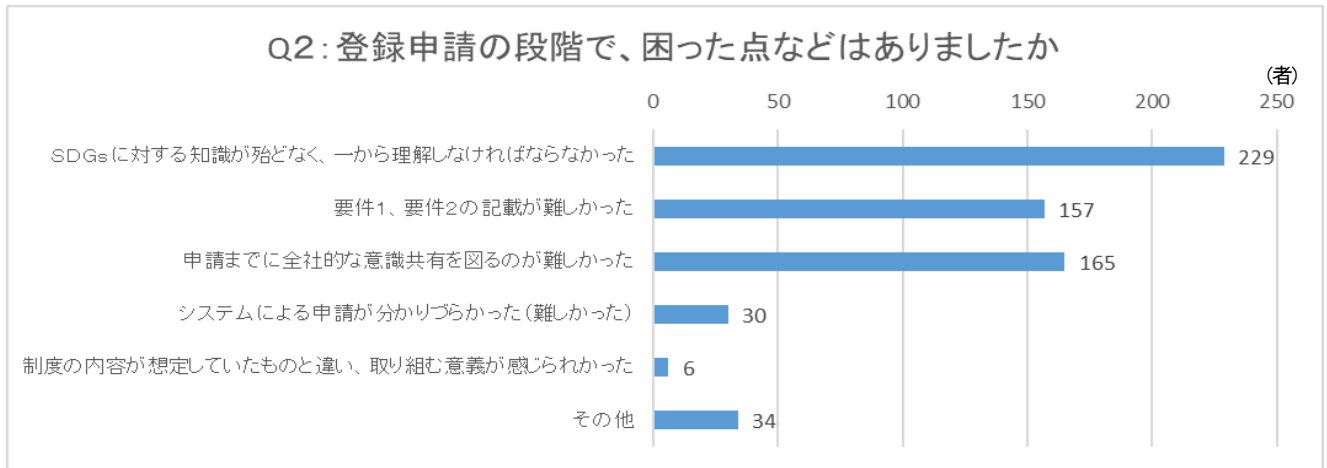
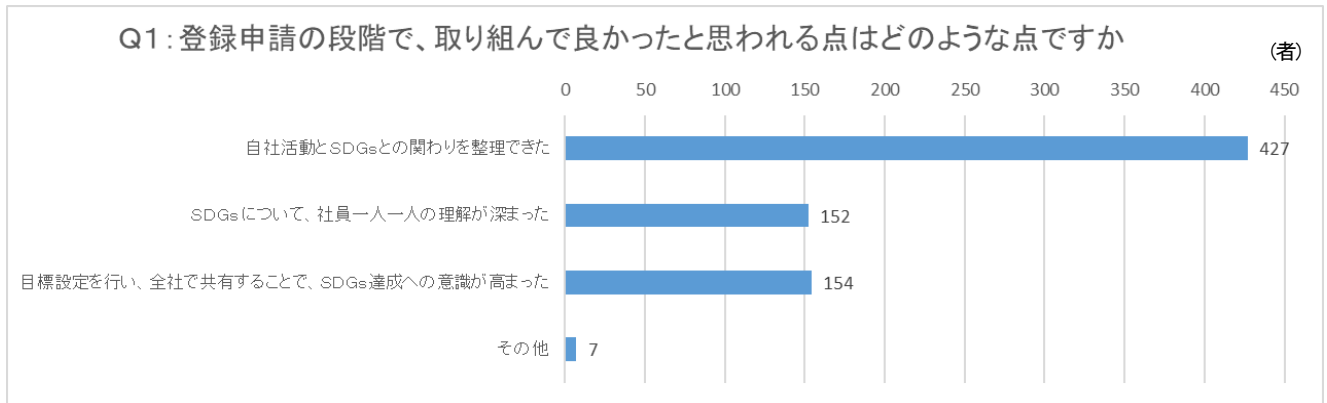
次に南信、中信、東信の順となっている。



## 4 アンケートの結果 (いずれも複数回答)

回答対象者 478 者

有効回答数 468 者 回答率: 97.9%



## 5 登録制度や県のSDGs施策について（自由記述欄）から抜粋

### 【令和2年度登録】

- ・建設業に於いての官民一体型女性登用の推進をお願いします。
- ・長野県に本社を置く企業として、長野県とともにSDGsの推進に努めてまいります。何かお手伝いできることがございましたらお声がけください。
- ・県で具体的な活動があればいいなと思います。
- ・コロナのご時世なので難しいと思いますが、イベントなどあれば楽しく学べそうです。”
- ・是非、登録企業と非登録企業の差別化をさらに色濃くしていただきたいと思います。
- ・企業のみでなく、県民一人ひとりが取り組めるよう、県にあっては県民の皆さんへの啓発事業に取り組んでいただきたいと思います。特に環境問題は、地球規模での取り組みが大切です。将来の子供たちのためにも先ずは2030年までの目標設定のなかで、未来につなぐ役を持つ今の子供たちも分かる具体的な県民運動の展開をお願いします。
- ・SDGsを通して、自社と社会とのつながり、地域や世界への貢献について考えることが出来ました。この機会を与えてくださり、ありがとうございます。SDGs取得企業の公表やメリット付与についてさらに一步踏み込んでいただければありがたいと思います。
- ・従業員のいない事業所向けに記載するフォーマットを用意してもらえると大変助かります。
- ・県のSDGs担当者や登録企業との意見交換や交流の場が多くあると良いと感じています。その中で様々な事業領域での協業により長野の発展に役立てられる施策が出てくるのではないかと思います
- ・県のSDGsと国のSDGsがリンクし、相乗効果があるような仕組みがあれば嬉しい。
- ・SDGsの推進は自社だけで取り組んでも意味が無い事に感じております、県や国、市町村とも連携しやすい様に各方面へ働きかけを積極的に行っていただきたいと思います。
- ・登録によって得られたネットワークを幅広く生かしたい。
- ・弊社の主力の木材に長野県産材を使った新商品を積極的に開発していきたい。
- ・今まで当社が行ってきた活動の一つ、環境経営活動「エコアクション21」で掲げている「自然と共に 地域と共に」の活動方針などの先にSDGsの達成があり、これらの活動を通して当社の経営活動の向上や社会活動において求められる課題の発掘にもつながりとても良い登録制度だと思います。
- ・登録企業間のネットワークや協働の促進に対するアクションを起こしやすい仕組みを期待します。
- ・これからもPRをお願いします。
- ・本件登録に当たり、担当部署の方には大変丁寧な対応を頂き、申請をスムーズに行うことが出来ました。今回申請内容に基づき自社の企業としてのレベルアップに取り組む所存であります。今後とも宜しく願い申し上げます。
- ・企業の業務内容以外の分野も積極的に取り組んでいきたいので新型コロナの影響で難しいかもしれませんが登録企業同士の意見交換会やイベント等を行っていけば企業だけでなく一般の方々にもSDGsの輪が広がっていくと思います
- ・国際社会の課題や環境問題といった大きな命題に対して、一企業として具体的に何が出来るかを見直し、今後意識して行動するきっかけにしたいと思います。
- ・今回SDGs登録にあたり、継続可能な社会の為に個人会社と身近に考えられるようになりまし

た。まず登録書式を記入する事で社内の問題点を客観的に分かり、目標設定する事により周辺整備の必要性が理解できました。取引先や知人の会社にSDGsを考える機会を勧めてみたいと思います。コロナ禍の影響で説明会等開催は難しいと思いますが、魅力ある社会に共感して頂ける会社さんが増えればとても良いと思います。

- ・県内はじめ、SDGsに関する情報提供をお願いします。
- ・SDGs企業の関連した商品などを周知して頂けるシステムがあれば有難いと思います。
- ・県ではこんなSDGs施策をしていますという定期的なアピールを一般家庭にもしてほしい。
- ・メディア等を通してSDGsの認知度が高まっている中で、長野県の登録制度は自社の企業活動とSDGsの関連性を理解しやすく、取り組むきっかけ作りとしてとても有効な制度だと思いません。登録企業がさらに増えて長野県の登録制度の認知度が高まる為に、公的機関によるメリットの付与は必須と考えます。長野県全体が目標達成に向けて進むために今後の検討を期待します。
- ・全員で行っていくことで、平和で幸せな国になるよう微力ながら頑張りたいと思います。
- ・思いやりのある社会を形成するにはSDGsの個々の取組が是非必要である。どの取組でも良いから自分の取り組めることから実践して見る。できる範囲で無理しないで取り組むことが自然にできるコツかもしれません。
- ・県として企業のSDGs活用を推進・支援することにより、県民のSDGs認知度や意識も高まり、良い取り組みだと思う。
- ・県によるSDGsの取り組みを通じて、県内企業が相互にSDGsの精神に則った企業活動を行なうことで、将来的には、持続可能な経済社会の在り方を模索するとともに、過剰なサービスの軽減、労働環境の改善といった、働く人の負担軽減と幸福度の向上が図られることが期待されます。企業活動の規模や形態も、それに応じて変化しなくてはならず、これらのことの社会的浸透のために、県には一層のPRをお願い申し上げます。
- ・SDGsのバッジをつける方が増えてきた。コビッド19のパンデミックでSDGsへの理解が進むように感じている。
- ・コロナ禍を受け、弊社も業務が輻輳する中ではありますが、SDGsに関連する出来ることから、着々と、取り組みたいと考えております。
- ・コロナ禍の今後の状況次第とは思いますが、登録者同士での情報交換や交流の場を設けていただきたく思っております。宜しく願いいたします。”
- ・昨年の台風災害と今回の新型コロナウイルス感染蔓延の中で自社のBCP対策を見つめなおす観点でも、今回のSDGs登録制度に向けての社内対応は意義深いものだった。
- ・SDGs登録への取り組みを機に、自社の多面的な環境の見直しや方向性を再確認することができました。
- ・全国でも進んでいる長野県のこの取組に期待しています。また、長野県ならではのSDGsの強みを明確にし、戦略的な広報活動と具体的な企業活動や、推進テーマの連携による相乗効果が出る仕組みを早急に構築して欲しいです。2030年は直ぐ来ます。
- ・この制度が無かったら、SDGsに対し、敷居が高く感じ、何から始めたら良いかわからないままでした。本制度のお陰で、SDGsに向けた具体的な一歩を踏み出すことが出来ました。有難うございました。今後はさらに深く事業計画とSDGsを一体化させ、全社的な認識と行動へと拡大させていきたいと思っています。
- ・定期的に活動報告を行い、成功事例を水平展開するようなことが必要と考えます。

- ・他の参加している団体でSDG sについて周りに周知を促していく役目を本年度仰せつかりましたので、この度登録を申し込みました。勉強する中でSDG sの意義や役割が本当に必要であると痛感しました。そんな中長野県が先進的にSDG sに取り組んでいることを誇らしく感じ、また当社もそのような長野県にある企業の一つとして2030年に向けて経済活動していきます。経世済民+SDG sがこれからのスタンダードと考えます。
- ・弊社は環境に係る業務を行っており、SDG sを柱にし、経営理念までも変えていこうと考えております。
- ・長野県様といたしましても、より一層SDG sへの施策を推進することにより、【信州】ブランドのさらに確固たるものとし、世界に誇れる【信州】を実現していただきたいと考えます。
- ・建設業の新客観点数に反映してほしい
- ・長野県は他県よりいち早くSDG sへの取り組みが早かったと思います。今後は社員一人一人への更なる理解と意識共有を図り、パートナー会社及びお客様へSDG s推進のPRを広くしていきたいと思います。
- ・政策はとてもよく同意できますが、SDG Sの登録制度について、誰でも登録可能ではなく、一定基準を設けた方が良くと思います。
- ・SDG sの普及に向けて、全社一丸となって実践していきます
- ・まだまだ認知度が少なく登録制度の情報が少ないように思います。
- ・当社の業務を通して貢献していきたい。
- ・中小企業にとって一見難しそうなSDG sへの取り組みを、簡潔なフレームワークにさせていただけた点は、非常に助かりました。
- ・登録制度自体の認知度向上にも期待したい。

## 【令和元年度登録】

- ・国や他県からも、県のこの取り組みが認知されるようになってほしい。
- ・企業のCSRの方向性(カテゴリ)が明確になる。ただ、全項目が必須事項というのはハードルが高い企業や業種もあると思う。だからと言って取り組んでいないわけではなければランクを組み入れた認証もいいのでは。
- ・県でSDG sを推進することを誇りに思う。
- ・登録制度を通して今後、行政との協働や協賛などを積極的に行うことでSDG sの浸透・推進がさらに加速でき、全国的にも模範となれるような活動をしたいと思います。
- ・県を挙げて取り組んでいただいていることを知り、県内企業として真摯に、前向きに取り組んでいきたい。
- ・地球を破壊から守る。だれ一人取り残さないというSDG sの理念をより広範囲に広げる活動を公的機関として強く、継続的にやっていただきたいと思います。
- ・SDG sは世界的で規模が広すぎて、我社とは関係が無いように感じておりましたが、企業活動がSDG sと関わりが深かったことを理解したり、整理できたことは大変良い機会となりました。社内及び社外に積極的にPRしてまいりたいと思います。
- ・どの業種もまだまだSDG sの認知度が低く感じます。士業をされている先生方にもご協力いただきもっと盛り上げていければよいのではないのでしょうか。
- ・SDG s登録作業で、弊社の現状と課題・開発目標が客観視でき、運営面での気付きも多く、極

めて有意義であった。一方、SDG s の理解により、企業の取組や事業展開に大きな差が出ている現状があり、引き続き認知度の向上にご努力頂きたい。更に、登録の具体的取組内容などを吟味して、優良・独創的な企業を選択して、開発プロジェクトの編成、県事業とのコラボなど、県内企業の技術・能力・エネルギーを生かしてほしい。

- ・特に公的機関からの中小企業への応援体制が弱いような気がします。
- ・「長野県でも環境問題に対してこんな取り組みをしている小さな会社がありますよ」というようなPRをしていただける場があればと思います。
- ・長野県として積極的に推進していくことは非常にいい取り組みだと感じております。また、推進企業としての登録を受ける事で、企業価値の向上にもなりありがたいです。しかし、登録時の条件やゴール設定の条件などが、業種によりかなり難易度が高いものもあり、無理矢理に条件に当てはめようとするれば、社内浸透の際に無理が出てきてしまいます。結果的に効果的に進めていけるのかどうかも含め、疑心暗鬼の中での申請でした。
- ・県と市町村ではかなり温度差があると感じますので、もっと働きかけて頂き、県、市町村、大企業、中小企業、個人でパートナーシップを組んで目標達成のための推進が必要です。
- ・全国でもより早くわかりやすく発信して下さったおかげで取り組んでいることが企業価値を上げることにもつながっていると感じています。また取組むことで意識改革が良い会社、良い地域へと更に発展していくのでとても良い機会と感じています。
- ・SDG s を標榜するだけでなく、日常的に取り組んでもらうために、ローカルメリットクラブ（長野県に密着した福利厚生サービス）で地元店を意識的に利用して欲しい。
- ・自社の企業活動、取り組みをSDG s に結び付け整理すること、何ができていて、何が不足しているかを改めて認識でき、に大いに役立ちました。
- ・海外の企業を中心にSDG s の考え方を取り入れた経営をしていないと取引ができないようになってきた。
- ・長野県の企業は、長野県でG20 関係閣僚会議を軽井沢で開催した意義に向き合い、自社の経営に反映していき日本を引っ張っていく必要があると考えます。なんのために生きているのか、なんのために経営しているのか、なんのために事業をしているのか、SDG s の取り組みから学ぶことはたくさんあると感じています
- ・長野県が、全国に先駆けてSDG s の推進に取り組むことに大変意義を感じております。これからも意義のある取り組みになるよう、積極的かつ継続的な運営をお願いいたく存じます。
- ・今後、更に県内における企業や行政機関、教育機関、地域医療との連携をし、意義ある地域のお悩み事を解決できる社会的活動へと発展させていきたい。その為には、SDG s 施策を認知されるように働きかけを行い、更に意味と価値のあるものにしていきたい。
- ・今後の当社を取り巻く環境を理解し、整理できたことは良かったと感じています。まずは社員にこの登録受けたことを情報発信、浸透させて内外にこの活動を広げていきたいと思います。SDG s の認知度を更に向上して頂きたい。
- ・登録だけに留まらず、県主導の施策などを示していただき、それに参加する形で企業の活動に繋がればいいと思います。
- ・長野県としてSDG s に取り組まれることは素晴らしいと思います。各市町村へも更に広めていただきたいと思います。
- ・登録制度のおかげで改めてSDG s の観点から自社が出来ている事、出来ていない事、これから

取り組むべき事が整理でき、2030年までの目標・指針を考える事が出来ました。

- 仕事を通じ、また仕事以外でもSDGsに関わっていこうと改めて強く感じました。
- 登録制度の創設により、企業としてSDGsに対してどのように取り組んでいくのか、具体的に検討するきっかけとなりました。今後も登録企業に対するご支援をお願いします。
- 長野県は、行政として、国内でもいち早く取り組み、県の登録制度が出来た事はとても良いと思います。
- パートナリシップを推進していくかが、大切であると思います。
- 産学官民が、参画することから行政が主体となり、1本化された組織作りが理想ではないかと、考えます。
- 事業所での取組は、決して難しいものでない。事業主が経営戦略、経営計画の作成時、非常に役立つ。また、中・小規模事業所が経営戦略や経営方針を社員に認識させる道具として使える。登録制度やSDGs施策の広報の時、事業所数が圧倒的に多い、中・小規模規事業所での使い方をアピールして貰えると認知度向上に貢献できる思う。
- 県内企業、各種団体等へのPR（CM）等、更なる推進をお願いいたします。また、県内の学校（高校、大学）へも出前で教育するなど、裾野を広げる活動も必要かと存じます。
- 長野県がSDGs未来都市のモデルになるように、地元企業のパートナーシップの強化と、各企業の連携をもって、SDGs未来都市長野を日本国内はもとより、世界へ展開できるような取り組みを行っていきたいと思います。
- この度の災害もSDGsの精神で乗り越えていけるよう、災害復興に尽力していきます。
- 素晴らしい制度です。もっと認知度を高め、広げていくべきだと思います。まだまだ知らない人が多い感じを受けます。
- SDGsに対する認知度が上がることを祈っています。
- 当社も形だけではなく、SDGsを進めていきたいと思います。広義でCSRにつなげていき、本業を活かして課題解決に進んでいく覚悟です。しっかりと2030アジェンダを理解していきたいと思います。
- SDGsの必要性を広く関連付ける広報をしていただきたいと思います。
- 県として本登録制度を施策として掲げて頂くと、取組みのきっかけとなり、非常に良い機会になると思います。
- まだまだ認知度が低いので、自社からも宣伝をしていき幅広い年代の人へ向けてアピールをしていきたい。
- 昨年度の登録方法に比べ今回はわかりやすく改善されていたので今回登録に挑戦することができました
- SDGsについての知識がなく、取引のある方より、教えて頂き、申請することが出来ました。もっと、全国の方、企業が興味を持ってくださるよう、アピールして広めていければ良いのではないかと思います。
- どのように取り組んで行けば良いか迷っていたところに長野県の制度があり、非常に助かりました。
- 長野県の制度に登録することで社内への協力依頼もしやすくなりました。
- 社内的にもSDGsの理解は初歩段階です。今後社内での教育を通じて有効的な活動に繋げていきます。

長野県の中小企業の役割・取り組みをアピールできる素晴らしい施策だと期待しています。

- SDG s の長野版として長野県内の企業全体で取り組んでいく事に、非常に意義があると感じております。引き続き認知度の向上や、登録企業の増加を推進して頂けましたら大変幸いです。
- SDG s は国連総会で2030年までに、人権の観点から「誰一人取り残さない」社会の達成目標です。長野県として2030年になったら、1人1人が生き生きし、希望溢れる社会となるようにして欲しい。そうなれば、地球温暖化対策の成果も、SDG s の様々な目標も一歩前進し、満足の成果が必ず生まれてきます。私も精一杯頑張ります。
- 公的機関、民間関係団体等の協力体制を構築し、啓蒙・普及活動を強化すること。
- 先進有効事例について広く伝えていくこと。
- 登録に際し、何回ものお問い合わせに丁寧にお答えいただきありがとうございました。個人事業主ながら登録することが出来ました。
- 登録制度のお話をすると『知らなかった』とおっしゃる方ばかりです。正直驚く位ご存じないです。そしてとても興味を持たれて、調べてみようとおっしゃいます。周知することでもっと進むのではないかと感じています。
- 先進的自治体であることから、SDG s に取り組む企業増加のため全県統一した施策の展開、また中小企業事業者に対しては経済的なメリットの付与が効果的であると思います。
- 登録がゴールではないので、登録制度を受けた企業等によるコラボレーションや交流会の開催を県が主導して実施してほしい。
- 令和2年に入り、環境の問題が特に表に出てきていると感じます。今までの生活基準では予想できない災害が身近に迫っていると感じます。地球温暖化や環境問題等真剣に取り組む地域作りを長野SDG s を通じて目指します。
- 当社創業50周年の節目の年に、自社の事業への振り返りが出来たこと。今後の目指す会社像を描くには、非常に良かった。
- 「気候非常事態宣言」「長野県SDG s 推進企業登録制度」などの市町村レベルの理解の低さと、行動力の無さをどのように啓発していくか。又商工会議所、商工会などへの働きかけが重要です。CO2削減の為に事業所の、エコアクション21、ISO14001認証・取得を働きかける必要があります。
- 企業として国、県が推進する施策と一緒に取り組む姿勢が大切だと思います。また、どんな形でさえ継続することを目標に頑張りたい。
- SNS やホームページなどで広く県民に方法して、少なくとも県内のSDG s に対する認知を上げていく取り組みを行っていただきたいと思います。
- 長野県がSDG s に積極的に取り組んでいる県であることを感じられて嬉しかった。一人一人ができることは僅かかもしれませんが一人でも多くの方の意識が変わればきっと未来は変えられると信じています。今回この取り組みに関わることができて感謝しています。
- 他県に先駆けて取り組んでいる慧眼に感服致します。また担当の方から丁寧にアドバイスを頂き感謝申し上げます。
- 今度、SDG s の推進企業の商品を集めて、特集サイトを作ります。
- SDG s への理解のきっかけとなりました。
- 今の大きな課題だと思います。特に長野は災害があつたり、高齢化、自殺率の高さなど、意識



を変えていく必要があります、よい取組だと思えます。

- SDG s の認知度は二極化されているように思われます。
- 長野県の登録制度の報道・メディアでの露出と、登録企業・推進企業へのメリットや新規ビジネス参入の展開などを検討いただければと思います。私自身は、SDG s は新市場としての魅力を感じています。
- 推進登録企業間の情報交換会、勉強会を開催して頂きたい。
- 私どもの地区ではE S D教育（環境プログラム）を子供たちに伝えてきました。SDG s の考え方の一部だと思います。今後はいろんなジャンルの企業が行っているSDG s 活動とコラボしてより長野県が取り組んでいることを世界に周知できるようにしていただきたいと思います。その中で長野県にお越しになる観光客・子供たちへのプログラム（協力体制）構築を検討していただきたいと願います。（一地区では周知の限界を感じてました）
- SDG s へ参加する事で企業の社内に対する責任が明確になり、社員の企業活動のモチベーションを上げる効果が期待出来そうです。
- 長野県のこの取り組みが今後も継続的に行われる事で、SDG s の意識が多くの企業に拡散し、実際の行動へとつながるように期待します。”
- 「人新世」時代の企業活動において、生産性、効率等の指標だけではなく、自然との共存、「ガイアとしての地球」の視点が必要である。ただし、そのような教育はされる機会は無く、アメリカを中心とした、科学万能、加速度主義的な思想に染まっている日本は、かなり偏っていると感じている。
- より深い理解や多くの企業や社会に広まるような取り組みを増やして欲しい。
- まだまだSDG s そのものが県内企業に周知されていないと感じます。登録するメリットもありますが、企業活動をする以上、全社で取り組む必要があると切に感じます。とはいえ、広げていくことは難しいかと思いますが、当社でも多くの企業にお勧めするなどできるだけ協力したいと考えております。
- 登録制度を通し、取組に対するプロセスや活動方針が具体的かつ現実的なものとなったことが大きなメリットであったと考えます。制度が無ければ、具体的な取組活動の実践が困難であったと思われます。
- 要件2の記入に時間がかかりましたが、その分、具体的に何を取組めば目標達成に寄与できるかを整理する事ができて良かったです。
- 長野県SDG s 推進企業登録制度はSDG s を企業に取り入れるツールとして取り組みやすいと思います。企業がSDG s を行っていると公表するなら、整備しておかなければならない項目が分かるからです。
- SDG s と聞くと、環境の事だけ取り組んでいれば良いと考える人もいるため、環境・社会・経済の三要素が必要になる事を研修会で伝えた方が良いかと思えます。